

夕張市コンパクトシティ構想

概要版

1 計画の概要

計画策定の目的

夕張市まちづくりマスタープラン及び夕張市立地適正化計画（以下「マスタープラン等」という。）において都市機能や居住を誘導する地区と定めた「若菜・清水沢・紅葉山」を「生活の利便性の高い拠点」とするため、公共施設の再編による拠点形成の具体化や生活環境に応じた居住の充実に向けた方策を示します。

計画の位置づけ：本構想は、マスタープラン等の実行計画と位置づけ、「財政再生計画（平成 22 年（2010 年）策定・平成 29 年（2017 年）抜本見直し）」、他の計画等と連携・連動しながら取組を進めていきます。

構 想 期 間：令和 12 年（2030 年）

構想策定の進め方：マスタープラン等で定める将来都市構造を基に、拠点地区（若菜・清水沢・紅葉山）の拠点像や公共施設のあり方について、「市民会議」における検討や居住の充実に向けた「住まいに関するアンケート調査」、地域の実情を把握するために実施した「地域ヒアリング」を参考に策定しました。

2 各地区の現況

公共施設の立地状況

・拠点地区（若菜、清水沢、紅葉山）には、学校、福祉施設等の生活を支える公共施設のほか、地区の特性となる公共施設が立地しています。

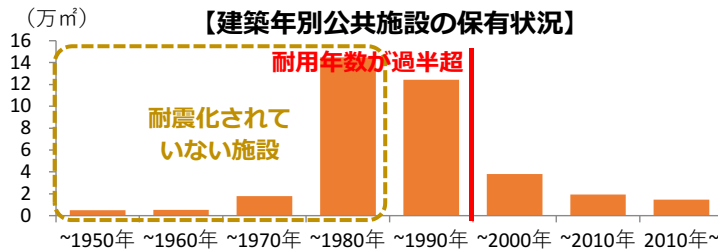
→**各地区に立地する特色ある公共施設を生かした拠点形成を目指すことが求められます。**

若菜地区	清水沢地区	紅葉山地区
<ul style="list-style-type: none">● 老人福祉会館● 文化スポーツセンター● 平和運動公園● はまなす会館● 夕張市立診療所 (令和 5 年度開所予定)	<ul style="list-style-type: none">● 拠点複合施設「りすた」● ゆうばり丘の上こども園● ゆうばり小学校● 夕張中学校● 消防庁舎● 公設卸売市場	<ul style="list-style-type: none">● 道の駅「夕張メロード」● 紅葉山会館

公共施設の状況

・本市が保有する公共施設は、築 30 年から 50 年が経過した施設が多くを占めており、耐震化されていない施設も多くあるため、長期的視点に立った老朽化対策や適切な維持管理・修繕、トータルコストの縮減・平準化を図る必要があります。

→**公共施設の再編の方策が求められます。**

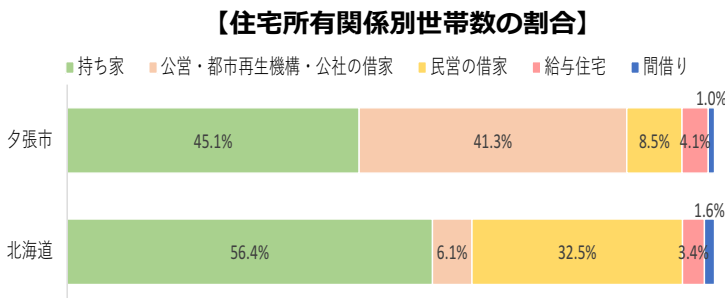


居住に関する状況

・本市は公営住宅に住む世帯割合が全体の約 4 割を占めており、公営住宅への依存が高い状況となっています。

・一方、民間賃貸住宅等に住む世帯割合が全体の 1 割未満となっており、割合が低い状況となっています。

→**多様な住宅の供給・確保することが求められます。**



3 拠点形成の具体化

① 拠点形成の目標と拠点化の方策

・「安心して暮らすことができる生活を支える環境づくり」と「地域の特性資源を活かした魅力的な環境づくり」に向け、マスタープラン等における地区の位置づけや地区の特性を踏まえ、市民会議の検討意見を参考に各地区の目標を設定します。

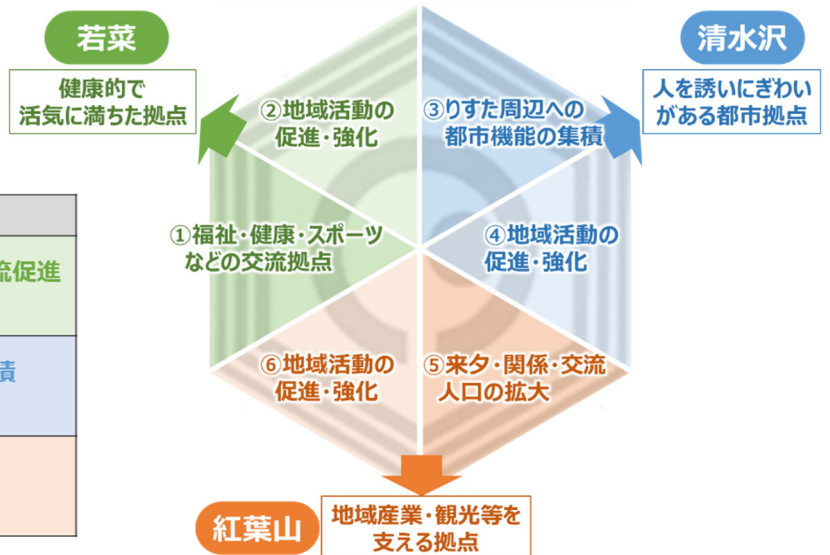
② 地区目標と拠点化の方策

若菜地区	清水沢地区	紅葉山地区
<p>市立診療所（供用開始予定）を核とした暮らしやすい環境の強化</p> <p>【拠点化の視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 健康づくりの推進 ✓ 運動、スポーツを通じた活動の推進 ✓ 市民活動等の活性化 <p>【地区目標】</p> <p>健康的で活気に満ちた拠点</p>	<p>都市機能の更なる集積による都市拠点の強化</p> <p>【拠点化の視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 市の中心としての機能強化 ✓ 生活利便機能の補完 ✓ 子どもたちの遊びや活動の場の確保・活性化 <p>【地区目標】</p> <p>人を誘いにぎわいがある都市拠点</p>	<p>地区の交通利便性を活かした交流機能の強化・充実</p> <p>【拠点化の視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 広域視点でのヒト・モノ・カネ等の流れを創出 ✓ 地域内外の交流促進 ✓ 地域産業を活性化 <p>【地区目標】</p> <p>地域産業・観光等を支える拠点</p>
<p>拠点化の方策</p> <p>① 福祉・健康・スポーツなどの交流促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運動、福祉施設の利用拡大・連携強化に向けた交流機能、健康機能の整備 ・ 公営住宅の活用（用途転用等） <p>② 地域活動の促進・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運動公園の市民利用促進に向けた一部開放・整備 ・ 集会施設の利活用の拡大・リノベーション <p>③ 居住の誘導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者向け、子育て世帯向けの住宅確保・整備 <p>④ 公共施設の再編</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害リスクのある施設や老朽化施設の集約化 	<p>拠点化の方策</p> <p>① りすた周辺への都市機能の集積</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 商業等の民間施設、公共施設（市役所等）を誘導 ・ 未利用土地の活用促進 <p>② 地域活動の促進・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ りすた、集会施設等の利活用の拡大・リノベーション ・ あらゆる世代が集う憩いの公園を整備 <p>③ 居住の誘導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て世帯向けの住宅確保 <p>④ 公共施設の再編</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽化施設や利用が少ない施設の集約化 	<p>拠点化の方策</p> <p>① 来夕・関係・交流人口の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道の駅としての機能充実・魅力強化、再整備 ・ 市内の観光等ネットワークを構築 <p>② 地域活動の促進・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道の駅と一体的な集会機能、公園の整備 ・ 地域と連携した景観づくり <p>③ 居住の誘導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て世帯向けの住宅確保、移住者向け体験居住 <p>④ 公共施設の再編</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽化施設の集約化

③ コアプロジェクトの設定

・ 各地区の目標達成に向けた重要な取組として、以下のプロジェクトを推進します。

	地区目標	プロジェクト
若菜地区	健康的で活気に満ちた拠点	PJT① 福祉・健康・スポーツなどの交流促進 PJT② 地域活動の促進・強化
清水沢地区	人を誘いにぎわいがある都市拠点	PJT③ りすた周辺への都市機能の集積 PJT④ 地域活動の促進・強化
紅葉山地区	地域産業・観光等を支える拠点	PJT⑤ 来夕・関係・交流人口の拡大 PJT⑥ 地域活動の促進・強化



4 居住の充実

- ・ 居住に関する取り組み方針については、「夕張市立地適正化計画」「第2期夕張市地方人口ビジョン及び地方版総合戦略」における居住誘導等に係る方向性・目標、「市民アンケート調査」や「地域ヒアリング」の結果を踏まえ、検討を行いました。

居住誘導区域

【第2期地方人口ビジョン】

- ✓ 転出抑制・定住促進により社会減少を抑制
- ✓ 結婚・出産・子育てへの障壁解消により自然減少を抑制

【住まいに関するアンケート調査結果】

- ✓ 子育て世帯及び労働世帯は市外への住替え希望の方が過半数
- ✓ 高齢世帯は市内での住替え希望の方が過半数

【基本方針】

- ・ 子育て世帯の流出抑制のため、子育てしやすい住環境を整備
- ・ 高齢者が安心して生活できる住まいの確保とともに、終の棲家となる住環境の整備
- ・ 労働世帯や新規居住者の移住・定住に対する住環境の支援を充実

住宅施策

① 子育てしやすい暮らしの実現 【対象者：子育て世帯】

住宅種類	住宅施策
持ち家	・ 住宅取得補助、リフォーム費用補助等 ・ 宅地分譲販売の促進（条件緩和等）
民間賃貸住宅	・ 建設促進補助 ・ 入居者の家賃助成
市営住宅	・ 子育て世帯向け改修 ・ 優先入居枠（拡充）
その他	・ 市内住替え支援（戸建て持ち家への住替え）

② 安心して生活できる住まいの確保 【対象者：高齢世帯】

住宅種類	住宅施策
高齢者向け住宅	・ 市営住宅の転用・改修（グループホーム） ・ 民間企業によるサ高住整備等
その他	・ 市内住替え支援（持ち家からの住替え）

③ 多様に暮らせる住まいの確保 【対象者：多様な居住者】

住宅種類	住宅施策
持ち家	・ 住宅取得補助、リフォーム費用補助等 ・ 宅地分譲販売の促進（条件緩和等）
民間賃貸住宅	・ 建設促進補助 ・ 入居者の家賃助成
移住・定住促進	・ 市営住宅等を活用した移住体験住宅の整備

④ 住宅に関するマネジメントの促進 【対象者：全居住者】

- ・ 居住情報、支援情報等の発信強化
- ・ 空き家情報等不動産流通の支援

地域再編地区

【現状】

- ✓ 地域再編地区の平均高齢化が64%と高齢化が顕著
- ✓ 特に本庁地区の広範囲に土砂災害警戒区域が指定されている
- ✓ アンケート結果では、約半数の世帯が「住み替えを考えていない」と回答。その一方、1~2割の世帯が「住み替えたい」と回答
- ✓ 地域ヒアリングでは、人口減少等による町内会運営等の維持、交通手段等の生活サービス水準の低下等に不安を抱えている意見が多い。また、今後の居住意向として、今の地区に残りたいという意見が多く、移転先の居住環境が整えば移転も検討するという意見もあった。

【課題】

- ✓ 地域再編地区の2020年から2040年にかけての人口動態予測によると、各地区とも現在の半数以下になることが予測されている。
- ✓ 特に南部、真谷地、楓・登川地区においては、現在の約1割以下になることが予測されている。
- ✓ 地域コミュニティの維持や生活不安の解消、生活サービス水準の低下防止等

【取組の方向性】

- ・ 地域との対話を行いながら、持続可能な交通体系の構築等の生活不安の解消や生活サービス水準の低下を防ぎ、居住環境の維持・確保に向けた取組を基本とします。
- ・ 住民意向による地区外への移転の際は、居住誘導区域へ誘導を図り、居住誘導や都市機能誘導・強化による拠点形成と連動し、可能な限り夕張に住み続けられる取組を進めます。
- ・ 地域固有の資源の活用を積極的に図り、地区の価値を維持・発展する取組を進めます。

5 実現に向けて

① 推進体制

- ・ 本構想の推進にあたっては、関わる分野が多岐にわたるため、庁内全体で連携し、本構想を推進します。
- ・ また、市民参画や関係団体等との連携を図り、検討を進めています。

② ロードマップ

- ・ 施設整備が必要な場合は、概ね5年程度での実現を目指し、取組を推進します。
- ・ すぐに始められる取組は、関係者と協働し取組を実施します。
- ・ コアプロジェクト以外の取組は、コアプロジェクトと連携して取組を実施します。



夕張市コンパクトシティ構想 一概要版一

令和4年3月

発行

夕張市 建設課

〒068-0492 北海道夕張市本町4丁目2番地

TEL 0123-52-3119